● 第３回まちづくり市民委員会で出された意見等

基本目標６	快適で住みよいまちづくり
政策	（１）都市機能の充実
施策	①　良好な住環境の創出と都市的土地利用の促進

現状と課題

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
①人口増や定住促進に対応するため、新たな受け皿づくりを進めるとともに、既存住宅地等における危険性の除去を進める必要があります。 ②市営住宅については、耐用年数を経過したものや近年中に耐用年数を迎える住宅が多い状況です。 ③中心市街地や九州大学周辺、新たな幹線道路等の沿線が持つポテンシャルを生かしたまちづくりを進めるとともに、人口減少地域においても生活拠点の機能強化を図る必要があります。	・市は人口増を求めてるのか？だとしたらどのくらい？ ・202の渋滞が困る ・市営住宅建て替え計画はあるのか？ ・前原駅のロータリーが広いと観光バスなどインバウンドも有？ ・通学路など危険な所がないか？ ・池田東土地区以外で都市的利用を考えている場所がある？ ・空き家問題 ・古い家がなくなったところに５軒くらい家が建って、道が通りにくくなったりしてるところもある ・スーパーなどの数が足りてるのか？お年寄りや車がない主婦の方 ・市営住宅は足りていない？入りにくい（なかなか入れない）とは聞くがどうか…

施策の基本方針

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
❶人口動態、道路・交通環境・上下水道などのインフラや災害危険性なども考慮し、周辺環境との調和や景観にも配慮した良好で安全な住環境の創出を進めます。 ❷市営住宅の適正な維持・管理を行いながら、施設の長寿命化を図ります。 ❸中心市街地や国道202 号バイパス、波多江泊線（中央ルート）、学園通線西回りルートの整備を契機とした地域の活性化を図ります。 ❹周辺環境に配慮した人口減少地域の利便性向上や賑わいの創出など、地域特性や必要性に応じた都市的土地利用への誘導や緩和を図り、生活拠点としての機能を強化します。	・中心地に人口が集まっているので山側などの活性化を考えて下さい ・糸島の良さは自然の豊かさ、それを残し、生かした街づくりをお願いします ・観光客の適切な対応。危なくないようにレンタサイクルなど。地元の人が危なく感じる ・利益だけ求めたら美観に関わる

主な取組

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
（１）池田東土地区画整理事業による都市的土地利用の促進	―
（２）危険ブロック塀の撤去や木造住宅の耐震化・省エネ化、がけ地近接等危険住宅の移転促進	・ブロック塀の耐震化
（３）景観形成を考慮した地区計画等による良好な住環境等の創出	―
（４）糸島市営住宅長寿命化計画に基づく施設の適正な維持管理及び長寿命化	―
（５）筑前前原駅周辺におけるにぎわいの創出や居心地が良く歩きたくなるまちづくりの推進	・筑前前原駅周辺は道が歩きにくい。そして商店街周辺に大きめ（安価）な駐車場が必要 ・駅近くの商店街のにぎわいがあったら「寄ってみようかな」と思う人がふえると思う！どんな店があるか知りたい
（６）路線沿線、九州大学周辺、人口減少地域における都市的土地利用の調査研究や指針等の策定	―
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・使っていない建物を解体　　・歩道の整備を行って欲しい　　・自転車の通る幅を広げる ・都市ガスが欲しい

● 第３回まちづくり市民委員会で出された意見等

基本目標６	快適で住みよいまちづくり
政策	（１）都市機能の充実
施策	②　快適な公園の整備

現状と課題	
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
①多くの公園が供用開始から30 年以上経過しており、公園施設の老朽化が進んでいるほか、樹木の生長が過多となっている公園があります。 ②大規模な自然災害が頻発しており、防災活動拠点や災害時避難場所として公園を活用することが見込まれます。 ③市民一人当たりの公園面積が全国平均・県平均よりも低い状況にあり、幅広い世代から安心・快適に過ごせる公園に対する多様なニーズが寄せられています。	・公園の前が車が多く通る道路だったら危険 ・草刈り。持ち主への対応がゆるい為、中々刈ってくれない ・糸島運動公園までの交通が不便 ・公園のトイレをきれいにしてほしい ・不足→人口増によるもの？

施策の基本方針	
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
❶公園施設の老朽化に対応するとともに、定期的な点検や適正な樹木管理などにより、公園の機能や安全性を確保します。 ❷公園の防災機能の向上を図ります。 ❸市民からの要望が多い遊具の設置やボール遊びができる公園の整備を進めます。 ❹民間活力の導入も含めた公園の有効活用や活性化策を検討し、公園の魅力向上を図るとともに、利用が減少した公園のあり方を検討します。	・大きな木を大切にして欲しい ・駐車場がないと利用しにくいから公園の近くにパーキングを ・最近やたらと木々が伐採されているのが気になります。楽しみにしていた桜も切られて悲しくなりました。私の他にも。 ・ボール遊びができる公園を書いて欲しい

主な取組	
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
（１）公園施設の耐用年数や点検結果に基づく施設の計画的な修繕・更新と時機を捉えた樹木の伐採・剪定	・ローラーすべり台がすべらない　・笹山公園の南側の整備（階段、手すり）　・樹木の移動、整備する等にて公園＋遊場として活用！
（２）開発公園などへの災害用ベンチの設置促進による公園の防災機能の向上	・災害用ベンチＵＳＢ付もあると良い　・災害時、車中泊が可能な公園を！
（３）子育て世帯の意向を捉えた遊具設置と地域の実情を踏まえたボール遊びができる公園の整備推進	・自転車を練習できる公園、ボール遊びができる公園と分けてもいいかも ・母親が座れるベンチが欲しい　・公園の中にハイハイでも遊べる室内の遊べるところが欲しい ・１才、２才、小さい子が遊べるところがない　・古くなった遊具を壊してボールで安全に遊べるスペースをつくる ・遊具がないボール遊び用の公園をつくる
（４）民間活力の導入による公園の魅力向上と有効活用及び活性化	・糸島運動公園アクセス。無料シャトルなどがあるとうれしい　・花をたくさん（植物）植えてほしい。芝生広場など広さを生かした公園の設置 ・民間活力の導入←どのようなことをするの？　・スケボー、ＢＭＸ等の設備をつくる　・野外ステージがあったらいい ・広い公園がほしい。芝生のみでおしゃれカフェやパン屋さんをつくる
（５）公園の集約や再配置等の検討	・歩いていけるところに公園がない（鉄棒しかない）　・個人の土地の寄贈？寄附？公園を増やす ・使用していない場所を空き地にして公園を作る　・海岸側の飲食店は増えているが、公園という公園は海側にない。海岸公園を
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・公園に街灯を増やしてほしい。ゴミ箱の増設　・公園に日陰を作って欲しい　・樹木の名札があると、知識が増やせて散歩が楽しい ・公園が掃除するところになってる　・あごら横の道幅を広げる工事。木を切らないでほしい。移植してほしい ・学生が健全に遊べるような居場所を作る　・映画館がほしい

● 第３回まちづくり市民委員会で出された意見等

基本目標６	快適で住みよいまちづくり
政策	（２）交通環境の充実
施策	①　公共交通網の充実

現状と課題

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
①市民の生活移動のニーズに対応していくため、持続可能な公共交通網の構築が求められます。 ②通勤・通学移動等における利便性を向上させるとともに、観光交流を支えるための公共交通の確保が求められます。 ③先進的技術の活用やさまざまな移動手段との連携により、公共交通の利便性を総合的に向上させる必要があります。	・路線バスの本数が少ない。オンデマンドバスの利用。高齢者の使用が大変（ＴＥＬ注文） ・車（マイカー）がないと生活維持できない。バスがわかりにくい。地図になっている停車一覧が必要 ・街灯が少ない！ ・自転車レーンがない。学生の自転車事故防止

施策の基本方針

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
❶公共交通の利用を促進しながら、拠点間を連絡する路線バス、コミュニティバス、オンデマンドバス、市営渡船を維持します。 ❷市民の生活を支えながら、観光客のニーズにも対応する利用しやすいバス路線の再構築を進めます。 ❸多極ネットワーク型コンパクトシティづくりに向け、公共交通の一体的な取組や持続可能性の確保に向けた取組を進めます。	・バスを増やすならバスに乗るハードルが高いことを超えていかないとならない！ ・コンパクトシティづくりとは？ ・オンデマンドバスとは？

主な取組

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
（１）路線の新設・見直しやダイヤの改正等による利便性の高い地域公共交通網の構築	・買物スポットまでのバス。安価で利用できるバス
（２）市民生活及び観光交流を支える公共交通の確保と情報発信	・どこを通っているのか一覧表があったら分かりやすい！（バス） ・バスがどこに行くのか、どこを通っているのか分からない
（３）日常生活におけるデマンド交通等の活用促進や新たな移動手段に係る検討	・チャリチャリの導入（福岡市） ・海上の交通を福岡市とむすぶ！港＝漁港利用 ・糸島の海沿いへのアクセスがバスか自転車（観光客）→電車があったら便利 ・チョイソコの範囲を広げて欲しい。本数も増やして欲しい
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・ベビーカーでも乗りやすいバス ・カーブミラーを増やして欲しい ・免許返納したあとの交通はどうしたら？タクシーまかせ ・自転車レーンがない。学生の自転車事故防止

● 第３回まちづくり市民委員会で出された意見等

基本目標６	快適で住みよいまちづくり
政策	（３）道路などの整備
施策	①　都市の骨格となる道路ネットワークの整備

現状と課題

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
①人口の増加、観光客の増加、九州大学の移転等による交通需要の増加等により、市内の国道や県道での渋滞発生が顕著となっているほか市道においても交通の利便性や快適性、安全性の向上が必要な路線があります。 ②社会情勢や都市活動の変化を踏まえ、効率的で効果的な都市計画道路の整備・見直しが必要です。	・前原駅からの歩道の幅がせまくて危ない ・自転車のマナーが非常に悪い。歩道を走ることが多い ・桜井地域の道路ルート。歩道の設備は必要 ・幹線の道幅が狭い ・商店街が狭くて通りづらい。自転車 ・糸島高校の近くの道路が不便！！ ・ベビーカーで筑前前原から支援センターに行ってみて下さい。ガタガタです！ ・糸島高校下の踏切のところの渋滞がすごい

施策の基本方針

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
❶国道や県道の渋滞解消を促進するとともに、幹線の市道においては、市民生活に配慮した計画及び整備を進めます。 ❷都市計画道路の必要性などを検証し、道路ネットワークを再構築します。	・道が整備されることで農地が失われないように対策をお願いします ・道路が増えることにより又住民が増えることも懸念されるのでは。適度な道路を

主な取組

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
（１）都市計画道路波多江泊線（中央ルート）や学園通線西回りルートの整備促進	―
（２）東～二丈ＩＣ（仮称）間の西九州自動車道と国道202号バイパスの整備促進	・東～二丈ＩＣのバイパスは本当に必要なのか？今さらと思うが ・東～二丈ＩＣ間のバイパスの整備にどのくらいかかるのか。工事のせいで渋滞している
（３）国道202号前原郵便局交差点改良などの整備促進	―
（４）主要市道等の整備による交通環境の充実	・道路が荒れているところをアスファルトにする ・山側の道路整備も必要では
（５）都市計画道路だけでなく国道、県道、市道の総合的な検証と効率的な道路ネットワーク構想の策定	―
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・車道を自転車で通る高齢者がこわいので、広い歩道に自転車マークを！ ・深夜等、時間帯による矢印信号の見直し ・唐津までの202号道路整備。自転車道を作って欲しい ・自転車専用道路の整備（作ってほしい） ・泊の馬場の通り（ラーメン一蘭のある所）。大型バスなどが通って交通量が増えていて危ない。整備してほしい ・歩きやすい平坦な歩道。自転車も高齢者も ・バスを使わなくてすむように自転車と歩行者が通りやすい道をつくる ・ポイ捨ての看板を設置して意しきを高め、自動販売機の横にはゴミ箱を必ず置く ・ごみ箱を置く

● 第３回まちづくり市民委員会で出された意見等

基本目標６	快適で住みよいまちづくり
政策	（３）道路などの整備
施策	②　道路などの安全対策とバリアフリー化

現状と課題	
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
①交通事故の発生件数は増加傾向にあり、交通事故を未然に防止する取組が必要です。 ②自動車や自転車による観光客の増加に伴い交通量が増加している中、歩行者、自転車、自動車が安全に通行できる環境が求められます。 ③路面標示（矢羽根）の設置意義や交通ルールに関する認識を高める必要があります。 ④筑肥線単線区間の駅のバリアフリー化など、駅や駅周辺施設の整備を求める市民の声があります。	・美咲が丘、加布里、ベビーカーが大変です！！ ・田んぼに落ちそう！側溝があぶない！ ・歩道がせまい。自転車通行帯がせまい ・天気の悪い夜に運転したら道路が見えなかった ・カーブミラーの劣化などがみられる→点検などの取組が必要 ・道路や歩道の雑草が茂っている。誰に、どこに言えばいいのか？ ・自分が車イスなら前原駅周辺を通るのはこわいです。駅から市役所までの歩道もガタガタ ・市のホームページを見ない（特に市外から来る学生さん）

施策の基本方針	
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
❶交通弱者に配慮しながら、ソフト・ハードの両面から交通安全対策に取り組みます。 ❷鉄道事業者と継続的な協議を行い、駅や駅周辺施設のバリアフリー化を促進します。	・いつまでに？どこが優先？どうしたら出来るのか？

主な取組	
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
（１）道路空間の再生及び無電柱化整備事業による筑前前原駅周辺における快適な歩行空間の整備	・無電柱化の拡充（新しい区画など）
（２）自転車通行帯の路面標示（矢羽根）の整備等による歩行者と自転車の事故防止	・高齢者が運転免許を手放してバスなど利用しているが、歩道と車道の段差など危なくないように ・自転車が通る道のはばを広げる
（３）小中学校通学路の危険箇所等への自転車歩行者道や歩道、グリーンベルトや防護柵の設置	・歩道と車道の間にガードレールや柵をつける ・ガードレールを増やしてほしい
（４）市ホームページや広報での周知と中高校生への研修による自転車通行時のマナーの向上	・外国の方（外国の方で糸島に住んでいる方）へ自転車のルールをお知らせできないか？ ・高齢者の方の自転車マナーが悪いので対策を
（５）駅のバリアフリー化に向けた鉄道事業者との継続的な協議	・美咲が丘駅にエレベーターの設置、もしくはエスカレーターの設置を要望します。地域住民の高齢化や妊婦さんなど
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・小学校のスクールバスを作る。使わない時間は市民が使える ・ＨＰなどに市民の声など申し入れができる窓口があってほしい（ここの街灯が暗いから明るくしてとか） ・道路にある段差をなくしてほしい　　・ＳＮＳの動画でのお知らせなどを使ってみては？　　・糸島市もＴｉｋ Ｔｏｋをやってみては？

● 第３回まちづくり市民委員会で出された意見等

基本目標６	快適で住みよいまちづくり
政策	（３）道路などの整備
施策	③　道路・橋の長寿命化

現状と課題

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
①幹線道路を中心に改修等の道路整備を進めていますが、それ以外の市道については、十分な維持・補修までには至っていない状況です。 ②市が管理する橋は750 橋あり、交通の安全性を確保するため、適正に管理していく必要があります。	・二丈ＩＣのところ、車が通るたびに音が響くのでチェックしてほしい

施策の基本方針

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
❶電子化した道路台帳を有効に活用し、補修等が必要な箇所を早期対応しながら計画的な補修改修等を進めます。 ❷定期的に橋梁点検を行い、適宜修繕等を実施していくことで、長寿命化を図ります。	・寿命をどう考えるのか、どう判断されるのか？

主な取組

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
（１）市道の適正管理に向けた舗装・側溝などの個別施設計画(維持・補修)の策定	―
（２）ドローンによる橋梁点検の導入などによる維持管理コストの低減	―
（３）個別施設計画（橋梁）の必要に応じた更新	―
（４）主要道路を優先した橋梁の耐震補強の実施	―
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・退職した技術者を募って点検作業などをしていく取組 ・どこで、どこが老化してるのか分かるのか？分からない。ホームページ？？ ・情報を分かりやすく出してほしい

● 第３回まちづくり市民委員会で出された意見等

基本目標６	快適で住みよいまちづくり
政策	（４）上下水道の整備
施策	①　安全で安定的な水の供給

現状と課題

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
①更新の目安となる法定耐用年数40 年を経過する水道本管の割合は約21％であり、老朽管の割合は年々増加している状況です。 ②本市は人口密度が低く、水道事業における施設効率が他都市に比べて不利な条件であり、小規模な施設が点在している状況です。 ③地震等の自然災害に伴う断水などの被害を抑制するため、水道施設や管路等の強靭化を図る必要があります。	・不利な条件が分からない ・どうやって市民が参入していけば良いかわからない ・福岡市と比べて水道代が高い ・水道代が安くなってほしい

施策の基本方針

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
❶糸島市水道事業アセットマネジメントの実践及び、糸島市水道施設更新計画に基づく管路の整備並びに施設の整備・更新を実行します。	・上水道と下水道の工事は一緒にした方が予算を抑えられる

主な取組

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
（１）老朽化した水道施設の計画的な整備・更新及び耐震化	・二丈地区の下水道工事を実施して欲しい（計画のままです）
（２）各配水池から指定避難所までの配水管の耐震化による災害時等の指定避難所の水道水の確保	―
（３）水資源の広域化、水源施設や配水池の統廃合等の検討による水道事業の健全な運営	―
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・防災の時の水をどのように確保するのか？自然の河川？？

● 第３回まちづくり市民委員会で出された意見等

基本目標６	快適で住みよいまちづくり
政策	（４）上下水道の整備
施策	②　地域の状況に適した下水道の整備

現状と課題

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
①下水道は、健康で快適な生活環境の確保や公共用水域の水質保全など、社会基盤を構成する必要不可欠な施設であるため、適正な維持管理が求められます。 ②下水道未整備地域の早期整備を進めていますが、地域に適した効率的な下水道整備を推進する必要があります。	・井戸水と浄化槽で暮らしていて困っていないです（深江、さくらい）

施策の基本方針

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
❶下水道施設の計画的な施設更新により機能を維持するとともに、災害に対する機能向上に取り組みます。 ❷汚水処理構想に基づき、地域に適した効率的かつ適正な整備手法で、汚水処理施設の整備を進めます。 ❸単独浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を促進します。	・目に見える数値で出した方が分かりやすい（いつまで、何％など）

主な取組

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
（１）下水道ストックマネジメント計画に基づく下水道施設の改築・更新と地震対策	―
（２）前原下水管理センターの増設による汚水処理量の増加への対応	―
（３）効率的・効果的で、早期の下水道管渠整備を推進するための下水道事業計画区域の見直し	―
（４）合併処理浄化槽への転換及び設置に対する助成による普及促進	・合併処理浄化槽の補助金切れの話を聞くので増やして下さい
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・地震が来てもトイレの心配がないようにしてほしい ・地震、災害時対策の開示 ・防災の時の井戸水の活用法

● 第３回まちづくり市民委員会で出された意見等

基本目標６	快適で住みよいまちづくり
政策	（４）上下水道の整備
施策	③　浸水被害対策の推進

現状と課題	
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
①　近年の自然災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、河川改修や浚渫に加え、被害を抑えるためのさらなる取組が必要です。 ②　浸水対策重点５地域のうち、整備が完了していない１地域の整備を急ぐとともに、浸水が想定される地域の対策を進める必要があります。	・５地域とあるが、どこなのか分からないので資料をつけて欲しい ・どこか分からない

施策の基本方針	
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
❶　雨水が河川に流入する地域から、氾濫域にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働し、水災害対策を行う「流域治水」を推進します。 ❷　県営河川については、河川改修や浚渫を促進します。 ❸　浸水対策重点地域の対策を進めながら、現地調査を踏まえた浸水被害の軽減に取り組みます。	・浸水地域に住んでいる人達へのフォロー（ハザードマップ） ・あらゆる関係者とは？ ・浸水被害の具体的な例、度合いが分からない。床上？床下？ ・災害の規模が想定できないから自然を破壊しての河川工事は必要ないのでは？お金もかかる

主な取組	
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
（１）「流域治水」の計画的な推進	―
（２）瑞梅寺川の河川改修工事の進捗と合わせた高田地区の浸水対策	―
（３）市営河川の状況把握と定期的な浚渫、必要に応じた改修などによる浸水対策	―
（４）定期的な浚渫などによる雨水調整池の適切な管理	―
（５）雨水管渠の整備や水路の局部改修などの浸水対策	―
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・市民目線で危ないところが分かる。情報があげられるところ ・ハザードマップの把握。Ｓ28年の水害を調査すること

● 第３回まちづくり市民委員会で出された意見等

基本目標６	快適で住みよいまちづくり
政策	（５）環境の保全
施策	①　豊かな自然環境の保全

現状と課題	
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
①人口や事業所が増加する中、豊かな自然環境の保全との両立が求められます。 ②市民や観光客の環境意識を高めながら、ボランティア活動や地域活動などの環境を守る取組を拡大していく必要があります。 ③在来種の生存を脅かす特定外来生物として、市民に認知されていない動植物があります。 ④森林病害虫により被害を受けた防風保安林の回復に取り組み、白砂青松の松林を回復させていく必要があります。	・どんな外来種がいるのか？分からない。どうやって知るのか？

施策の基本方針	
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
❶関係法令に基づき、市民と協働しながら自然環境を保全するための取組を推進します。 ❷市民や地域と連携しながら、環境美化の促進や不法投棄を防止する活動等に取り組みます。 ❸特定外来生物発見時の市民の関連機関への連絡等を促進します。 ❹松林保全に向けて、アダプト制度の充実・拡大を図ります。	・危険な動植物とは？ ・森林を切り拓いてまで施設や住宅地を作るのはほどほどにしてほしい ・どうやって促進するのか？ ・関連機関とは？ ・むやみやたらに木を切らないで欲しい。豊かな自然を次の世代へ残す

主な取組	
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
（１）河川・ため池などの水質検査、大気汚染・騒音・振動・悪臭などの監視	―
（２）地域での環境美化活動や環境ボランティア活動の支援、市民・事業者等と連携した不法投棄の監視	―
（３）特定外来生物に関する啓発強化、出前講座や自然観察会などの学びの場の提供	・公園とかに貼り紙をする。子どもたちからも分かりやすく ・学校や幼稚園など出張講座で知る機会を増やす
（４）松林保全アダプト制度の登録団体数の拡大	―
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・小さい不具合や困りごとをどこまで市が把握出来るのか ・糸島の土地を海外の方が簡単に買えないように ・山の管理の個人負担を市も

● 第３回まちづくり市民委員会で出された意見等

基本目標６	快適で住みよいまちづくり
政策	（５）環境の保全
施策	②　脱炭素社会と循環型社会の形成

現状と課題

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
①再生可能エネルギー(再エネ)、省エネルギー(省エネ)設備の導入だけでなく、市民・事業者の行動変容によるＣＯ２の削減が求められます。 ②市公共施設における再エネ導入、省エネ化、公用車の電動化等に取り組む必要があります。 ③本市においては運輸部門からのＣＯ２排出量が国や県の平均と比べて高いため、自動車からのＣＯ２を削減する必要があります。 ④プラスチック資源循環促進法の施行により、３Ｒ(リデュース・リユース・リサイクル)に加え、再生可能な資源利用(リニューアブル）も必要です。	・充電スポットが分からない ・まだ補助金は出てるのか

施策の基本方針

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
❶ＣＯ２などの排出削減につながる生活や事業活動等を促進します。 ❷発電時にＣＯ２を排出しない再エネ設備の普及や再エネ自家消費・地産地消を促進するとともに、省エネ設備の普及を図ります。 ❸ガソリン由来のＣＯ２を削減するため、電動車（ＥＶ・ＰＨＥＶなど）の普及を促進します。 ❹資源循環の取組による循環型社会の形成と、廃棄物によるＣＯ２削減を進めます。	・糸島の良さは自然が豊かなところ。この豊かな自然を次の世代の子どもたちへ残せる取り組みを ・山にソーラーパネルはいらない。自然災害の誘発につながる ・風力発電もいらないのでは。壊れたら海のゴミになってしまう ・川のコンクリート化もいらない。砂の採取により砂浜がなくなっている

主な取組

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見
（１）ＣＯ２削減につながる行動の効果を見える化し、市民・事業者向けの啓発を実施	・蓄電池の普及！！ ・ＣＯ２を減らす取組をしたらポイント（店など）でつかえるのがたまるとりくみをしたら広まるのでは？
（２）市内の再エネ・省エネ設備・電動車の導入支援、公共施設への再エネ設備などの率先導入	・電気自動車をもっと導入してはどうか？　・学校に大きな太陽光パネルをおく　・カーボンニュートラルのバスを増やしてほしい ・ＥＶ車充電スポットを増やす←市民は優待ありなど　・電気自動車の補助金（糸島市）を出して欲しい ・マイクロ水力発電をもっと設置してはどうか？　・安全機能がついた小型自動車を交通が不便な地域へ導入
（３）次期ごみ処理施設の整備計画と合わせたプラスチックごみの分別収集の検討	・プラスチックの回収があればよいのになー ・プラスチック容器を減らす ・ペットボトルの再利用化のシステムを
（４）生ごみ減量化器材導入や紙類等の有価資源回収に対する支援によるごみの再資源化の促進	・ゴミの再利用。処分しない方法に重点を。バイオ系 ・コンポストを買うのに補助金を出す
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・トラックの通行の料金を高くする　・春は太陽光。発電も制限がかかる。それを貯められないのか　・空飛ぶ電車、自動車をつくる ・木をたくさん活かしてＣＯ２削減　・自動販売機の横のごみ箱が一杯になってごみが入らないからごみを回収する回数を増やす